

有機溶剤作業チェックリスト

区分	チェックポイント	良否	改善事項
環境 管 理	<ul style="list-style-type: none"> 密閉装置、局所排気装置、全体換気装置は、法令の規定に適合する設備を設置しているか。 特例措置の場合、労基署長の許可を受けているか。 局所排気装置のフード、排風機、排気口、性能、全体換気装置の性能を、適切に管理しているか。 人体に及ぼす作用、取り扱い上の注意事項、中毒発生時の注意事項、色別区分を掲示（表示）しているか。 有機溶剤設備の計画の届け出を行っているか。 		
環境 測 定	<ul style="list-style-type: none"> 6ヵ月以内ごとに1回、定期的に環境測定を行っているか。 測定記録を3年間保存しているか。 基準通りの測定方法で測定を行っているか。 必要に応じて外部機関に測定を依頼しているか。 		
自主 検 査	<ul style="list-style-type: none"> 1年以内ごとに1回、定期的に局所排気装置の定期自主検査を行い、3年間、記録を保存しているか。 最初の使用時及び分解・改造・修理時に点検しているか。 異常を認めたときは直ちに補修しているか。 		
資 格 等	<ul style="list-style-type: none"> 有機溶剤作業主任者を選任しているか。 有機溶剤作業主任者は所定の職務を励行しているか。 作業者は十分な教育を受けているか。 		
作 業 方 法 管 理	<ul style="list-style-type: none"> 作業標準に基づいた方法で作業を行っているか。 タンク内作業では、次の措置を講じているか。 <ul style="list-style-type: none"> ①有機溶剤等の流入の恐れのない開口部の開放 ②溶剤等による身体汚染時及び作業後での身体の洗浄 ③事故発生時における退避用設備・器具の整備 有機溶剤類を入れたことのあるタンクには、有機溶剤中毒防止のための所定の措置を講じているか。 タンク内作業で事故が起こり、中毒が発生する恐れのある場合、直ちに作業者を退避させているか。 タンク内作業や通風が不十分な屋内での作業などではホースマスクを使用しているか。 ホースマスクを使用する場合、作業者が有害な空気を吸入しないような措置を講じているか。 特例により局所排気装置を設けないで行う屋内作業など、所定の作業ではホースマスクや防毒マスクを使用しているか。 有機溶剤を屋内に貯蔵する場合、施錠による区画を行うなど、所定の方法で行っているか。 空容器の処理には密閉するか、屋外に集積しているか。 		
職 場 巡 視	<ul style="list-style-type: none"> 始業点検、定期点検、随時点検を行っているか。 職場巡視者を決めているか。 巡視記録を保存しているか。 前回の巡視で指摘された改善事項は処理しているか。 		
健 康 管 理	<ul style="list-style-type: none"> 雇い入れ時、配置替え時の健診を実施しているか。 6ヵ月以内ごとに1回の定期健診を実施しているか。 健診は法定の項目によって実施しているか。 健診結果を5年間保存しているか。 		